

項目	内容
名称	コガネバナ、コガネヤナギ [英]Baikal Skullcap、Chinese skullcap [学名]Scutellaria baicalensis Georgi
概要	<p>コガネバナは、シソ科の多年草で、披針系の葉と、青紫色の花をつける。3～4年もの根を秋または春に収穫し、薬用とする。オウゴン(黄芩)はコガネバナの周皮を除いた根で、抗炎症作用、解熱作用を示すことから赤痢や腸炎に対する生薬として用いられる。根は「専ら医薬品として使用される成分本質(原材料)」に区分されるため、食品に用いることはできないが、根を含む商品も販売されている可能性があるため、注意が必要。</p>  <p>写真提供: 薬用植物資源研究所</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オウゴン(コガネバナ/コガネヤナギ)根: 「専ら医薬品として使用される成分本質(原材料)」に該当する。 ・オウゴン(コガネバナ/コガネヤナギ)茎・葉: 「医薬品的効能効果を標榜しない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)」に該当する。 <p>■ 日本薬局方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オウゴンが収載されている。 <p>■ 食品添加物</p>

	・天然香料基原物質リスト コガネバナが収載されている。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・オウゴン、バイカリン、バイカレイン、オロキシリンA、クリシン、スクルカ プフラボンI、II (29)。
分析法	・根エタノール抽出物中のフラボノイドをHPLCで測定した報告がある (PMID:21866919)。
有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
で脳の感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
の評価免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(7) 中薬大辞典 小学館 (18) 和漢薬百科図鑑 I /II 保育社 難波恒雄 著 (20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS). (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (101) 世界有用植物事典 平凡社 (PMID:21866919) J Agric Food Chem. 2011 Oct 26;59(20):10934-42. (PMID:11518120) Intern Med. 2001 Aug;40(8):764-8. (PMID:22855699) World J Hepatol. 2012 Jul 27;4(7):231-3. (PMID:21713461) Eur J Drug Metab Pharmacokinet. 2011 Dec;36(4):249-56. (PMID:19422358) Basic Clin Pharmacol Toxicol. 2009 Oct;105(4):249-56. (PMID:28539725) Pharmacogn Mag. 2017 Apr-Jun;13(50):300-308. (PMID:29434136) Intern Med. 2018 Jun 15;57(12):1733-1740. (102) 第十八改正日本薬局方解説書 廣川書店